

出雲市浄化槽設置事業経営戦略の改定概要について

1. 対象事業：

①特定地域生活排水処理事業（市設置型浄化槽整備事業）

公共下水道事業等の集合処理区域以外の区域について、市が個別に浄化槽を設置し、維持管理を行っているもの（管理基数 1,111 基、令和 4 年 3 月末時点）

②個別排水処理事業

農業集落排水事業区域内において、経済比較の結果、管路を布設し集散的に処理することが、適当でない家屋を対象に、市が個別に浄化槽を設置し、維持管理を行っているもの（管理基数 137 基、同上）

以上の 2 事業について、浄化槽設置事業特別会計による管理運営を行っている。

2. 計画期間：令和 5 年度～令和 14 年度（10 年間）

3. 将来の事業環境

(1)処理区域内の人口と使用料収入の見通し

①処理区域内人口と水洗化人口

処理区域内人口及び水洗化人口は、人口減少の影響を受け減少すると見込んでいる。

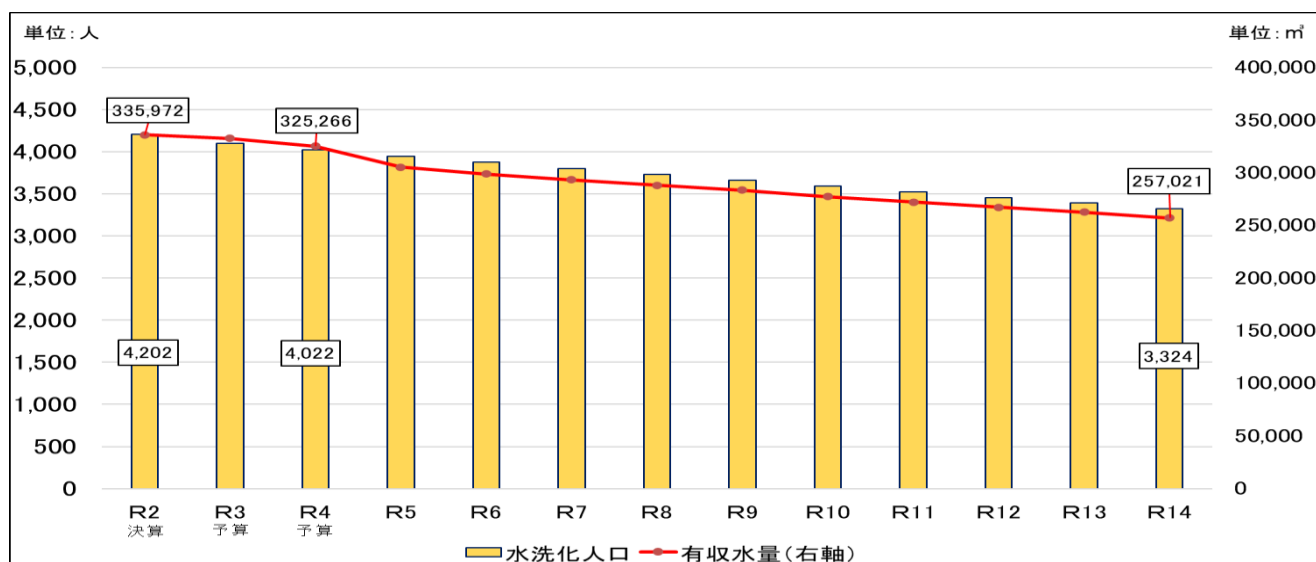
②有収水量及び使用料収入

使用料収入は、水洗化人口の減少に伴い有収水量の減少を見込んでいるため、年々減少していくと予測している。

※当該事業は、負担の公平性の観点から公共下水道等と同一の使用料水準及び体系としている。

(2)施設の見通し

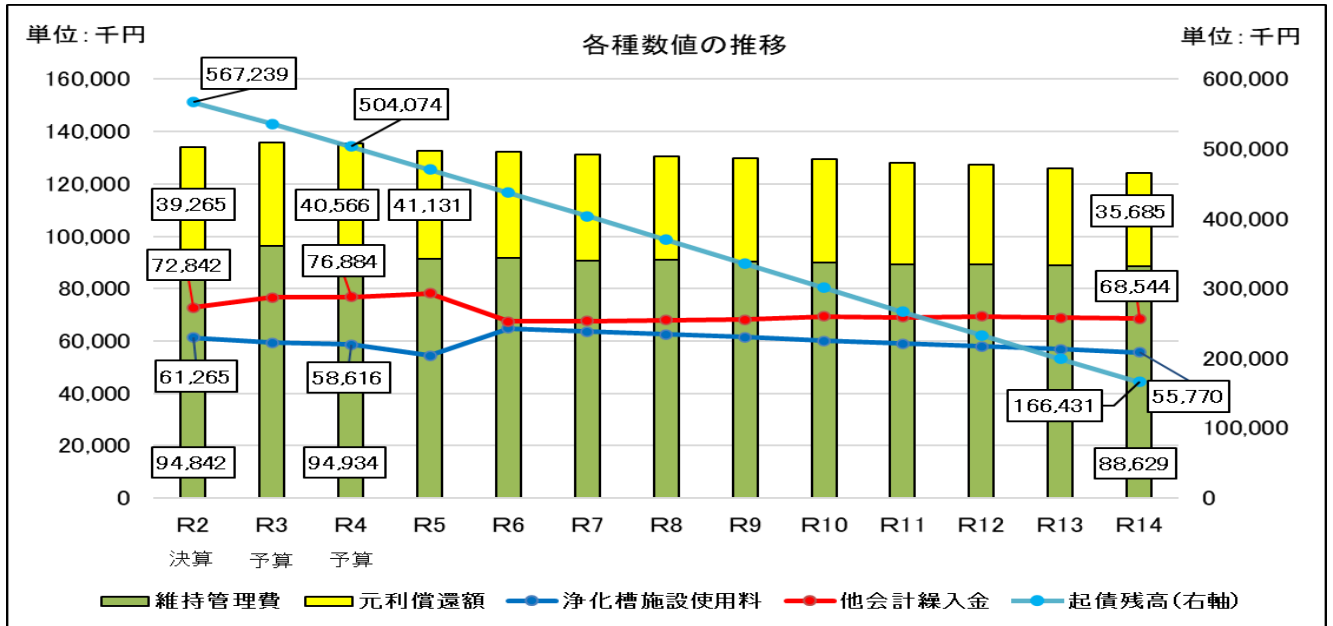
市が行う浄化槽整備は、平成 10 年度から実施し平成 29 年度に完了している。現在は浄化槽の維持管理を行っており、今後、老朽化に伴う修繕箇所が増加が見込まれることから、施設の長寿命化に向けた計画的な点検・修繕を行っていく必要がある。



4. 経営の基本方針

新規の浄化槽設置は完了しており、引き続き適切な維持管理が必要となる。浄化槽施設の長寿命化を図り効率的、効果的な事業運営を行っていく。

5. 投資・財政計画（収支計画）



【浄化槽施設使用料】下水道事業における使用料の推移と同様に、令和6年度から増収させるシミュレーションとしている。

【他会計繰入金】人口減少に伴い、使用料収入の減少が見込まれるため他会計繰入金の増加を見込んでいる。

【維持管理費】人口減少に伴い、動力費等の維持管理費の減を見込んでいる。

【元利償還額】令和5年度約4,100万円をピークに逡減し、令和14年度には約3,500万円まで減少すると見込んでいる。

【起債残高】令和4年度は約5億円あるものの、償還が進むことにより、計画最終年度には約1.6億円まで減少すると見込んでいる。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の進捗管理については、毎年、予算編成への反映を行うとともに、決算等による実施状況の評価、検証を行う。また、長期的な観点における当該事業の在り方については、事業実施評価、検証と合わせ検討を行っていく。

経営戦略の見直し・改定にあたっては、下水道使用料について令和4年度に審議会を設置し検討予定であることから方向性が決定した後に行い、その結果を議会に報告するとともにホームページに掲載する。